

2022年度 補助事業の考え方について(案)

公益財団法人 JKA

2021年度補助事業の補助率・上限金額(機械)

(参考)

事業区分	対象事業の概要	補助率	上限金額	要望 件数	要望金額	交付決定 件数	交付決定金額
機械振興補助事業	自転車・モーターサイクル・障がい者スポーツ	9/10	20,000万円	10	31,096.8万円	5	20,779.4万円
	安全・安心、生活の質の向上、防災・減災	4/5	5,000万円	15	24,289.7万円	6	10,546.6万円
	機械技術を活用した福祉機器の振興 ※1	3/4	3,000万円	35	16,498.0万円	11	4,449.0万円
	国際競争力強化に資する標準化の推進	3/4	5,000万円	14	13,311.2万円	9	5,407.2万円
	①公設工業試験研究所等における機械設備拡充 ②公設工業試験研究所等における人材育成等 ③公設工業試験研究所等における共同研究	2/3	①5,000万円 ② 400万円 ③ 300万円	① 48 ② 2 ③ 8	① 114,570.3万円 ② 413.6万円 ③ 1,707.2万円	① 48 ② 2 ③ 8	① 108,357.1万円 ② 413.6万円 ③ 1,707.2万円
	ものづくり支援 地域の機械産業の振興 省エネルギー等の環境 医療機器の振興 ※2	1/2	5,000万円	26	20,015.5万円	20	14,132.5万円
	2025年日本国際博覧会	2/3	5,000万円	1	5,000万円	1	5,000万円
	個別研究	1/1	500万円	92	44,901.3万円	51	25,200.3万円
	若手研究		200万円	38	7,552.3万円	20	3,992.8万円
	開発研究		1,500万円	23	31,095.1万円	6	7,718.1万円
ステップアップ研究	1,000万円		26	24,700.0万円	8	8,000.0万円	
複数年研究	500万円×2年		70	68,494.0万円	40	39,172.9万円	
緊急的な対応を必要とする事業への支援	※3	※3					

※1 福祉機器の整備については、上限金額750万円になります。

※2 医療機器の整備については、上限金額2,500万円になります。

※3 補助率、上限金額は、「振興事業補助」の補助率、上限金額に準じます。

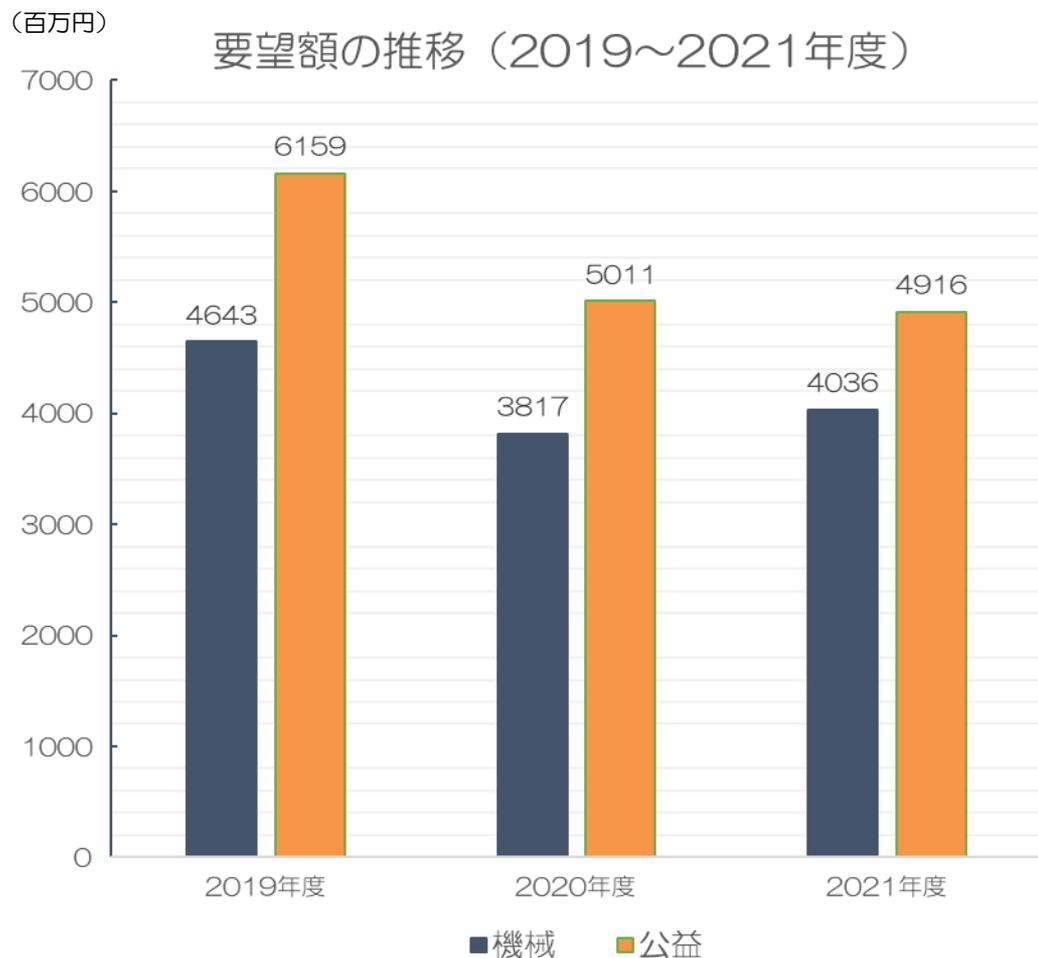
2021年度補助事業の補助率・上限金額(公益)

(参考)

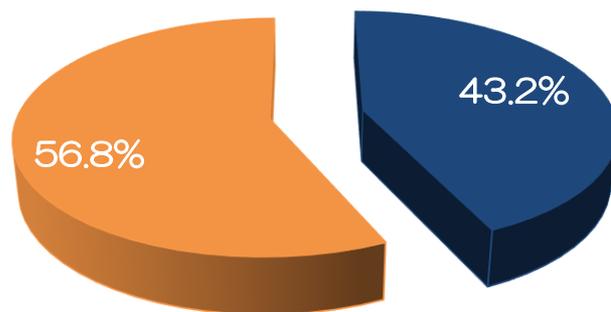
事業区分	対象事業の概要		補助率	上限金額	要望 件数	要望金額	交付決定 件数	交付決定金額	
公益事業振興補助事業	公益の増進	自転車(競技力向上等)	事業費	9/10	18,000万円	2	16,847.3万円	2	16,847.3万円
		自転車・モーターサイクル スポーツ・パラスポーツ	事業費	2/3	5,000万円	59	102,355.0万円	42	88,013.7万円
			施設の建築		15,000万円	0	—	0	—
			施設の補修		5,000万円	0	—	0	—
		社会環境 国際交流	事業費	2/3	5,000万円	16	21,226.2万円	10	13,384.5万円
			施設の建築		10,000万円	2	20,000万円	2	16,000万円
			施設の補修		5,000万円	0	—	0	—
	医療・公衆衛生 文教・社会環境	事業費	1/2	5,000万円	17	14,753.2万円	10	11,137.6万円	
		検診車の整備		3,100万円	36	84,311.7万円	21	52,165.0万円	
		施設の補修		5,000万円	3	13,618.7万円	2	8,618.7万円	
	新世紀未来創造プロジェクト		1/1	100万円	6	598.0万円	5	498.0万円	
	社会福祉の増進	児童 高齢者 障がい者 地域共生型社会支援事業 幸せに暮らせる社会を創るため の活動や車両・機器等の整備	事業費	3/4	5,000万円	54	26,675.5万円	26	15,911.3万円
			施設の建築		8,000万円	30	115,170.7万円	6	21,721.1万円
			福祉車両の整備		315万円	187	34,966.9万円	124	22,375.6万円
			授産機器の整備		750万円	12	4,368.9万円	4	2,594.6万円
施設の補修			5,000万円		12	28,949.1万円	4	11,973.5万円	
復興支援事業			1/1		300万円	3	647.1万円	2	395.9万円
研究補助	1/1	300万円	11	3,078.0万円	4	1,199.9万円			
緊急的な対応を必要とする事業への支援			※	※					

※補助率、上限金額は、「公益の増進」、「社会福祉の増進」の補助率、上限金額に準じます。

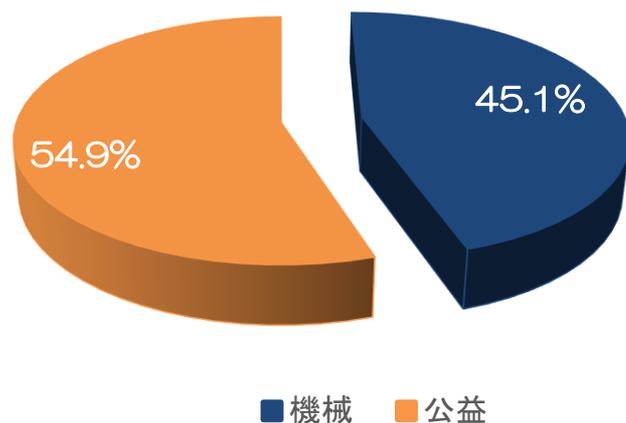
2021年度要望比率と要望額の推移（機械・公益）



2020年度要望



2021年度要望



2020年度 機械振興補助事業審査・評価委員会における議論

《自転車を活用しての補助事業について》

- ・地球温暖化防止のために自転車というのは非常に有効である。JKAとして自転車が暮らしの中で有用な機械ということをアピールしたらどうか。

《国際競争力強化に資する標準化の推進》

- ・申請事業者が審議団体かどうかをあらかじめ確認したほうがよいのではないか。

《緊急的な対応を必要とする補助について》

- ・コロナの拡大で介護施設で働く人たちのへの支援が求められるのではないか。
- ・コロナ感染防止策として生活様式の変化に対応していくことが必要ではないか。

2020年度公益事業振興補助事業審査・評価委員会における議論

《全般》

- ・申請においてコロナへの対策についても併せて記載させたほうが良いのではないか。

《社会福祉の増進について》

- ・子どもの貧困は課題になっているので支援してもいいのではないか。

《授産施設について》

- ・現場で求められている様々な機器について、支援してもいいのではないか。

《緊急支援について》

- ・コロナ緊急支援は補助額としては高くないが、JKAの補助事業がコロナの関心を広め、考えるきっかけとなるのではないか。

2022年度に向けた環境の変化

- ◆新型コロナウイルス等感染症と新しい生活様式への変化
- ◆脱炭素社会を目指すカーボンニュートラルの実現に向けた取組
- ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)による事業変革
- ◆SDGs(持続可能な開発目標)の推進
- ◆2025年日本国際博覧会の開催
- ◆ギャンブル依存症対策の実施
- ◆自転車活用推進計画の制定
- ◆非常災害の甚大化 等

2022年度補助事業の考え方について

(1) 全体(機械・公益共通)

- ①新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策への支援を引き続き行うとともに、WEBを活用した非対面で実施するなど新しい生活様式へ対応できるようにする。
- ②SDGsの目標達成に関連した事業に支援できるよう補助メニューを明文化する。
- ③カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションに関連した事業が行えるようにする。
- ④子どもの貧困に関連した事業が行えるようにする。
- ⑤授産機器について、幅広く事業が行えるようにする。

(2) 機械振興補助事業

- ①新産業の創出、省エネルギーの推進、環境問題などSDGsにつながる事業への支援を行う。
- ②カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションに関連した事業への支援を行う。
- ③新型コロナウイルスなどの感染症対策への支援を行う。
 - ・感染症指定医療機関への医療機器の整備に関する事業。
- ④昨年度に引き続き、2025年日本国際博覧会に関する事業への支援を行う。

(3) 公益事業振興補助事業

①新型コロナウイルスなどの感染症対策への支援を行う。

- ・新型コロナウイルス等感染症診断に有効なCT搭載の検診車を対象。
- ・福祉車両に感染防止対策装備を対象。
- ・WEB、IT等を活用した非対面での事業を対象。

②子どもの貧困に関連した事業への支援を行う。

- ・貧困や飢えから守る活動、ヤングケアラー支援を対象。

③授産機器を就労支援と変更する。

- ・障がいの種類に応じて就労支援に必要な機器を幅広く対象。